

きょうなんコミュニティ だより

がんばれ、まはる

◆令和6年度 第2号(通巻154号)
◆発行日 令和6年7月1日
◆発行 境南コミュニティ協議会
◆編集 広報部
◆住所 武蔵野市境南町3-22-9
◆電話 0422-32-8565
◆メール kyonan-c@bz04.plala.or.jp
◆ホームページ <https://kyonan-c.website>



HP

この町がすき 人がすき
～笑顔が広がる 境南町～

<ご挨拶>

雨上がりの庭先に半夏生の白色がひと際鮮やかで、暑さを和らげてくれています。この夏、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

今年も昨年同様の猛暑が予想されるため、コミセンでは6月17日から9月30日までの間、ロビーを「クーリングシェルター(むさしのいっとき避暑地)」として開放しています。暑さをしのぐため、お気軽にお立ち寄りください。なお、熱中症特別警戒アラート発令時は気候変動適応法第21条に基づく指定暑熱避難施設として指定されています。

今夏はモーニングハイクを7月20日に実施予定です。老若男女ともに大勢ご参加いただき、早朝ハイキングで暑さを吹き飛ばしましょう。

(会長 後藤順一)

目次

- 会長挨拶 (1面)
- 協議会からのお知らせ (1面)
- 第9回境南盆おどりのお知らせ (2面)
- もみじ山おばけ大会のお知らせ (3面)
- シリーズ わがまちの昔⑦ (4面)
- シリーズ コミセンを支える地域団体 (4面)

第37回モーニングハイクのお誘い

朝から楽しく元気に歩こう！
～三鷹の歴史を訪ねながら仙川平和公園へ～

境南コミセンでは、毎年夏の日の早朝にモーニングハイクを企画しています。昨年度は、小金井の「はけの道」から国分寺の「お鷹の道」を経て、武蔵国分寺公園まで歩きました。

今年度は、三鷹の歴史散歩をしながら、仙川平和公園まで約10キロを歩きます。みんなで夏の朝日を浴びながら、地域の歴史と自然を味わうウォーキングを楽しみましょう！

日時：7月20日(土)
午前5:00 境南コミセン集合

目的地：仙川平和公園～三鷹歴史散歩～
10キロ程度

参加費：200円

申込：7月1日(月)～7月12日(金)

参加費を添えて境南コミセン窓口まで

※小学生未満の子どもさんは、大人同伴でお願いします。

※地図は当日配布します。



昭和歌謡曲に合わせてリズム体操

日時：7月8日(月) 10:00～11:30

場所：境南コミセン 第1・2会議室

主催：成人活動部

内容：音楽に合わせて身体を動かすことの良さ、脳や身体への影響についての講話と運動実技

募集人数：先着20名 無料

*募集は6月17日(月)より
コミセン窓口にて(電話可)

*運動のできる服装と飲み物は
持参するようにお願いします



コミセン七夕まつり

日時：7月6日(土) 14:00～16:00

主催：青少年部

内容：児童室にてボーリングで遊べます。お菓子のお土産もあります。

短冊やマジックはピロティにありますので7月7日(日)まで自由にお問い合わせください。

終了後短冊は杵築大社に奉納します。



第9回 境南盆踊り

8/3(土)・4(日)
2024 Bon festival dance 両日ともに雨天の場合 5日(月)に開催

武蔵境駅南口武蔵野プレイス前
境南 ふれあい広場公園
自転車でのご来場はご遠慮ください

午後5時から
踊りは 午後6時から

踊りの練習日
会場：境南コミュニティセンター
時間：午後 7時から8時30分
7/4・11・18・25の木曜日

共催：境南協栄会 緑盛会 境南中央商店会 富士見通り商店会 境南盆おどり実行委員会
後援：武蔵野市 協力：武蔵野警察署 武蔵野消防署 協賛：地元協賛企業 団体 個人有志

境南町 夏のイベント

2024

とみじ山
おばけ大会

氷

焼きそば・フランク・かき氷など縁日もやっています!

8月24日(土)25日(日) 夕方頃～

会場：もみじ山公園 境南町3丁目17-17

お問い合わせ 主催：境南青年会 kyonanseinen@gmail.com

シリーズわがまちの昔⑳

今回は、昭和7年境南町生まれの92歳、境南町在住で初代コミセン運営委員の佐野和生さんです。コミセンに直接お電話を頂き、ご自宅でお話を伺いました。

関東大震災の後、ご両親が分譲地を購入し、浅草から現在のお住まいに移住されました。当時周辺は森や畑に囲まれ、水は井戸水を利用、生活排水は、浸透させて土壌浄化するための「溜め」を各家庭で作り処理していました。玉川上水から分水された境村分水の水路が、線路北側から天文台通りを通り、公園になる前のもみじ山の辺りを経由して杵築神社の池の方まで流れており、麦やかぼちゃ、さつまいもなどを作る畑に農業用水として使用されていました。幼少期は、その水路で魚釣りをしたり、もみじ山につくられていた5m×15m位の掘り込み池に飛び込んで遊んだりしたとのこと。春には土筆採り、夏には蛸狩りを楽しめました。近くの森では、カッコウやホトトギス、コジユケイの声も聞かれました。どこからでも富士山が見えたそうです。

戦争中は、食料は配給制で、食料難の中、芋のつるや植物の茎を刻んで麦に炊き込み、食料としていました。B29で高射砲陣地（現赤十字病院敷地）が空爆されたときには、高射砲弾の破片が飛んできて4丁目の佐野さんの家の瓦が割れるということがあったそうです。昭和20年の東京大空襲の時には、B29がサイパンから富士山をランドマークとして日本に飛来し、そこから中央線をたどっていった都心を攻撃、高射砲はあったもののその頃には既に弾がなく、武蔵野市上空200mを通過するB29に対して、なすすべはない状態でした。都心の空は朝まで赤く染まっていたとのこと。

戦後も食料不足で、米軍からトウモロコシが放出され、それでパンのようなものを作ったり、日持ちのする塩鮭を食べたりしました。まもなくコンクリートの街づくりによる都心復興が始まり、砂利を積んだ貨車を引く多くの蒸気機関車が多摩鉄道（現西武多摩川線）から中央線に乗り入れるようになりました。武蔵境周辺では昭和25年から40年頃までに上下水道が順次整備され、都市ガスも通り、そこから生活がガラッと変わっていったとのこと。また、戦争から若者が街に戻ってきて、青年活動が活発になりました。民意も高かったことがコミセン第一号の境南コミセン設立につながったのではないかと話されていました。

その後佐野さんは、民間会社を経て、水圏環境コンサルタント会社を営みつつ大学で講師等もされました。お仕事の傍らコミセン運営委員で書記として活動され、最初の会則の作成に携わったとのこと。佐野さんのご自宅の庭には当時の大きな木がたくさんあります。高く大きな葉を広げる朴の木や、まだ緑の実の枇杷の大樹を見上げて、これまでの街に流れた時間と、今後も広がっていく人々のつながりに思いをはせました。

《シリーズ コミセンを支える地域団体》

《公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター》

武蔵野市シルバー人材センターでは、市内にお住いの60歳以上の健康で働く意欲のある会員の方々が、地域社会のために日々元気に活躍しています。令和6年3月末時点の会員数は1,106名、平均年齢は75.6歳です。うち境南町にお住まいの方は109名です。

本センターは、市や市民のみならずからいろいろな仕事を請け負っています。市報配布や学校施設管理などの公共の仕事に加え、庭の草むしりや家事援助など、生活の中のちょっとした困りごとの手伝いまで、幅広い仕事をしています。仕事を通じて、会員の方には社会貢献の実感、健康維持、仲間づくりなどの機会としていただくと同時に、利用される市民の方々との交流も生まれています。また、地域のコミセン文化祭や武蔵野桜まつりなどのイベントにも参加しています。

会員の方からは「仕事で定期的に体を動かし、汗を流すことで、入会前よりすこぶる健康になりました」「仲間と一緒にやっているから大丈夫！生涯現役、働き方を変えながら働けるうちは働きたい。これからもシルバーで働き続けたい」といったうれしい声をいただいています。本センターの仕事は基本的にグループ就業なので、これまでやったことのない仕事でも安心して就業していただけます。また、研修を受ける機会もあります。

ただいま本センターでは会員“大”募集中です。毎月の入会説明会で、シルバー人材センターでの働き方についての詳しい説明を行っています。同日入会手続きも行えますので、入会をご検討の方はぜひ一度お越しください。



【入会説明会】

*ご来場の際は、電話でお申し込みください。

日時：毎月第2火曜日 午後1時30分から

（*具体的な日時はお問い合わせください）

会場：センター事務所

（西久保1-6-27 多摩信用金庫武蔵野支店4階）

電話：0422-55-1231

ホームページ：

<https://www.musashino-sc.or.jp/>